

料金後納  
郵便

# しりあい



2021年度 作品展より

通信教育

## 目次

所長挨拶	2
客員教員のご挨拶	3~5
退任のご挨拶・着任のご挨拶	
教務関係のお知らせ	6~18
web単位認定試験について	
客員教員によるゼミについて	
客員教員による学習相談について	
面接授業の教科書・保険・追加登録	
通信指導の提出について	

事務室からのお知らせ	19~23
学位記授与式・入学者の集いの開催について	
学友会定例総会の開催について	
卒業研究・修士論文発表会、ガイダンスについて	
郵送による学生証の交付願	
新入生の皆さまへ	
4・5・6月のスケジュール	24



**《重要》**  
通信指導の  
提出についてが  
載っています!

### 「しりあい」の由来

語源は「愛知」。「愛を知り、知を愛する」をもじって「しりあい」とし、愛知学習センターで「知識を知りあい、お互いを知りあい、お互いの向上を知りあう場所にしたい」との希望を託して命名しました。

連絡先:放送大学 愛知学習センター TEL:052-831-1771

住 所:〒466-0825 名古屋市昭和区八事本町101-2 中京大学センタービル4階

ホームページ:<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/aichi/> E-mail : [aichi.sc@ouj.ac.jp](mailto:aichi.sc@ouj.ac.jp)

## 科学者と市民のコミュニケーションについて

愛知学習センター所長  
氏家 達夫



私は、東電の原発事故後、原発事故の心理学的影響、特にリスク知覚について行われた研究をあれこれ調べてきました。そして、放射線被ばくの影響について、人々のリスク知覚と科学者や専門家といわれる人々の科学や確率にもとづいた説明との間に大きな乖離があること、そしてそれがそう簡単に埋められないことに強い懸念と不満を感じてきました。例えば、原子力に関わる専門機関は、事故についての膨大なデータを基に、原発事故による放射性物質の健康影響はないと科学的に結論づけ、人々に対してそのような説明をしてきました。しかし、朝日新聞と地元の福島放送が2018年2月に行った福島県民1000人への調査によると、事故による放射性物質が自身や家族に与える影響に不安を持つ人の割合は66%にも上っていました。

事故後、科学者や専門家が市民の不安を解消するために行ってきたリスクコミュニケーションは、十分に効果を上げているとはいえません。それはなぜなのでしょう？1つの理由は、科学の性格と関わっているかもしれません。国や県は、科学的知見にもとづいた正確な情報提供をしてきました。しかし、科学的知見にもとづいた正確な情報とは何でしょうか？科学的知見はいつ塗り替えられるかわかりません。国は、東電の原発事故による低線量被ばくの影響についての研究を今でも募集し、助成しています。さまざまな研究者が、医療被ばくや航空機被ばくの影響を研究し、知見を更新しています。科学的知見は一時的なものにすぎません。国や県の説明は、今のところ、東電の原発事故による健康影響はないという結論を覆すような知見がまだ得られていないといっているにすぎません。福島県内の各地に平常時の何十倍、何百倍という放射線が検出されても、その時点の科学的知見にもとづいて、国も県も、避難の必要はないといってきました。平常時の500倍近い空間放射線

量が観測された福島市では、室内退避の指示は出ていません。しかし、今後新しい科学的発見があり、実はあの時の被ばく量でも健康にこれほどの影響があったのだとわかるかもしれません。その時科学者は、それを科学的事実として受け止めます。そのようにして科学は進歩してきました。早い時期の結論は誤りではなく、その時点の妥当な結論だったのです。したがって、ある時点まで行ってきた対策もやはり誤りではなく、だれにも責任はないのです。

しかし、(ある意味無責任な)科学的説明にもとづいて避難しなかったのだから子どもを外に出したのだから、子どもに何らかの健康影響が出たとしてもやむを得ないといつて、その事態を科学者のように受け止められる親がいるのでしょうか？人々は、科学的、確率的にいかにか非合理的であったとしても、起こりえる被害をゼロに近づけたいと考えます。そのためにはほとんどなく大きな代償を払ってもよいと考えます。そして、そのようなリスク知覚は、恐れや不安、責任感といった感情に支えられています。残念ながら、科学者や専門家は、このような市民や親たちのリスク知覚の構造や性質を十分に理解していませんし、人々の感情に寄り添うような共感性の訓練も受けていません。

最近も、科学的エビデンスというフレーズをよく耳にします。私は、そのフレーズにデジャブ感を覚えます。そのたびに私は、科学を市民に理解させるだけでなく、市民を科学者が理解することを促進するような科学コミュニケーターがいてくれるとよいのにと考えてしまいます。自然科学と社会人文科学の素養・教養があり、科学者と市民の両方にわかりやすく説明する力を持つ人材の必要性が高いのではないかと私は思っています。そして密に、そのような人材を輩出できるとすれば放送大学ではないのかと思っています。

## 退任される客員教員のご挨拶



### 三浦 裕次 先生

2017年から5年間、愛知学習センターで面接授業やゼミで皆さんと『人生100年時代の心と体の健康』に関して議論してきました。人生の先輩方も多く、こちらの方が教えて頂くことが多かったようです。コロナウイルス感染症拡大のため、中止や遠隔による授業となったのは残念でしたが、充実した時間を過ごすことができました。健康と教育の責任は、長い人生の中でいろんな先生がいろんなことを説明しますが、すべて自分に返ってきます。つい自分に都合の良い意見を取り入れて、怠惰な方向に流れやすいのです。ロールモデルもなく、個々人によって健康を維持する方法は全員違い結論はありません。常に自問自答し、自分にとっては耳の痛いことであっても、正しい情報を取捨選択し体と心に負荷をかけ続けることが大事かもしれません。

ゼミは終了しましたが、今後もお目にかかる機会もあるでしょう。その時は一緒にキャッチボールや将棋でもしましょう。

これからも皆様のますますのご健康とご活躍と、センターのご発展を心よりお祈り申し上げます。



### 河野 莊子 先生

放送大学にお邪魔するようになって、早5年が過ぎました。お引き受けした時は、「5年もの長い期間務まるのだろうか？」と多少の不安があったのですが、振り返ってみればあっという間でした。

ゼミでは、現代青年の心の問題について、親子関係・恋愛観・情報化社会など、さまざまな側面から議論しました。ゼミでの活発な意見交換を通して、私自身も気づかされることがたくさんありました。特に、学生運動全盛期の時代を生き抜いた「前に出る世代(私が勝手に名づけました)」のゼミ生の方々と、「思いがあっても出さない世代」の草食系大学生との共通点を発見した時は、感動にも似た思いがしました。時代背景の影響を受け、表現形態が違うだけで、どちらの世代の人たちも、青年期は迷い、周囲と自分を比べて、頑張ろうと自分を鼓舞したり劣等感を持ったり、憧れの人に近づけるように努力してみたり、「自分」を見出すまで紆余曲折するようです。当たり前のことではありますが、「ヒトって一生懸命生きている愛しいものだなあ…」と思いました。

その他、各期の最終セッション後、一緒に昼食を取りながら、みんなでざっくばらんに話す機会があり、私には、それも楽しみの1つでした。コロナが蔓延し、オンライン開催するしかなくなった今、この行事も中止になっているのが残念でなりません。

この楽しい習慣が、コロナ後も続くように願っています。5年間、本当にありがとうございました。



## 山口 智子 先生

### 【目的交流型のサードプレイスとしての放送大学】

2018年からゼミを担当させていただきましたが、この度、退任することになりました。コロナ禍で対面とオンラインのゼミになりましたが、ゼミでは高齢期の心理や認知症について学び、高齢者福祉の現状、退職後の地域参加の難しさや工夫、発達凸凹をかかえる人の可能性、コロナ禍による生活の変化、感染症の歴史や文化の違いなどを検討しました。どの発表も丁寧でその人らしさを感じられる、素晴らしいものでした。

初年に「歳をとったらきょういく(今日行くところ)ときょうよう(今日の用事)が大切」と教えていただきましたが、確かに、放送大学はシニアの方の「サードプレイス」(第3の場所)として重要性が高いと思います。サードプレイスはオルデンバーグが地域への柔軟な関わりとして提唱したもので、家庭でも職場でもない、居心地がよく、社会的平等性が保たれ、会話が中心に存在する場です。住んでいる地域には様々なしなみがありますので、地元を離れて、学びや交流を大切にしたいという目的交流型のサードプレイスで、仲間と集い、知的好奇心を刺激する活動ができることは素晴らしいと思います。

コロナが収束し、仲間との集いが再開されることを祈念しています。4年間、ありがとうございました。

## 新しく着任される客員教員のご挨拶



## 金子 一史 先生

本年度より、新たにゼミを担当させて頂くことになりました金子一史です。どうぞよろしくお願いいたします。専門は臨床心理学及び発達臨床学です。研究テーマとしては、現在大きく以下の2つについて取り組んでいます。

1つ目は、妊娠期から産後にかけての家族のメンタルヘルスについてです。近年、産後うつ病についての社会での認知が進みつつあります。妊娠期や産後の時期に子育てに困難を抱えている養育者に対して、どのような支援が効果的なのか、総合病院の産科や市町村の保健センターと共同して、追跡研究を行っています。

2つ目は、児童期青年期のメンタルヘルスに関する国際共同研究です。自傷行為やいじめなどの児童青年期の心理的問題とその関連要因について、世界17ヶ国の研究者とのグループ The Euroasian Child and Adolescent Mental Health Study (ECAMHS)を結成して、国際共同比較研究を行っています。

本務校では、臨床心理士・公認心理師の養成を担当しています。乳幼児期から成人期にかけての心理的問題に対して、専門業務としての臨床心理アセスメントや臨床心理面接のあり方を指導しています。また、臨床心理学領域での学術研究指導をしています。

放送大学の愛知学習センターで担当するゼミでは、自身の研究テーマに絞ることはせず、広く環境が人間の成長発達にどのように関連するのかを取り扱うこととしました。皆さんと活発な意見交換が出来ればと思っています。



## 西田 裕紀子 先生

皆様、こんにちは。今年度より、新しくゼミを担当させていただくことになりました西田裕紀子と申します。普段は、大府市にある国立長寿医療研究センターの老化疫学研究部という部門で、高齢者の身体と心の自立を促進するための疫学研究を行っています。

疫学というのは、少し難しい言葉ですが、特定の集団を対象として、健康に関わるさまざまな現象(心身機能や疾患など)の頻度や分布を調べて、その要因や予防法を明らかにしようとする学問です。日本の社会は、高齢化が急速に進んでいます。そして誰もが、長生きするだけではなく、高齢になってもできる限り心身ともに健康に過ごしたいと望んでいます。健康長寿のために私達に何ができるかについて、栄養学や医学などの専門家と一緒に、調査研究を行っています。

私の専門は心理学ですが、年を重ねる上で大切と思うのは、やっぱり「心のもちよう」です。国内外の研究では、好奇心高く過ごすことは、認知機能を維持すること、ひいては認知症予防に役立つことが分かっています。誠実で真面目な人は、健康的なライフスタイルを取りやすいためか、長生きする傾向がありそうです。小さくても生活のなかで何か目標をもっている場合には、脳の中で認知症の病理が進行していても認知機能を維持しながら自立して生活できることを報告した研究もあります。

ゼミでは、生涯発達心理学や老年学の理論や研究を参照しながら、幸せに老いる、ということについて考えたいと思います。



## 堀場 純矢 先生

今年度からゼミを担当させていただく堀場純矢と申します。愛知学習センターでは、2018年度からスクーリング科目「子どもと福祉」を担当しており、学生のみなさんの学ぶ意欲の高さに刺激を受けてきました。本務校の日本福祉大学社会福祉学部では、児童・家庭福祉論、社会的養護、福祉労働論などの科目を担当しています。専門は社会福祉学・児童福祉で、児童養護施設(以下、施設)で暮らす子どもと親の生活問題、施設職員の労働問題について研究しています。

私自身もみなさんと同じように、大学を出てから施設で働き、そのなかで生じた問題意識をふまえて働きながら大学院に進学し、学位を取得して現在に至っています。研究のフィールドである施設では、貧困・虐待などを背景として入所した子どもたちが生活しています。近年、施設ではコロナ禍の感染症対策に加えて、小規模化・地域分散化などの制度改革も同時に進められており、職員の過重労働が深刻化しています。そのため、職員の労働環境の改善が必要ですが、先行研究は皆無に近い状況です。

また、子どもの貧困・虐待の背景には、厳しい社会のしくみのなかで構造的に引き起こされる親の労働・生活問題の深刻化がありますが、先行研究の多くは問題の本質を捉えているとはいえません。そこで、担当するゼミでは、子どもの貧困・虐待の背景と支援、職員の働き方などについて受講生のみなさんと考えていきたいと思っています。よろしくお願い致します。



# 2022年度第1学期単位認定試験の実施方法がWeb方式に変わります!!



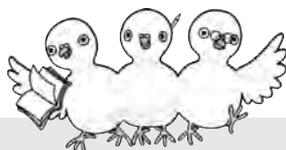
郵送方式とWeb方式の主な違い

	郵送方式(2020~2021年度)	Web方式(2022年度第1学期)
問題閲覧方法	Web	Web
解答提出方法	郵送	Web
時間制限	なし	試験期間中 任意の50分 ※3 ※4
ログイン方法	単位認定試験ページへ専用ID、パスワードでログイン	システムWAKABAへログイン

Web単位認定試験の詳しい概要は、放送大学ウェブサイトの「[大学からのお知らせ](#)」や、[2022年度第1学期「授業科目案内」P12、13](#)、ご自宅に郵送されている案内をご確認ください。



- ※1 ご自宅にインターネット環境がある場合、単位認定試験期間前までに体験版を**必ず**操作しておいてください。
- ※2 体験版を操作する際は、**必ず**受験環境と同じ環境で体験してください。
- ※3 一度解答を開始すると、パソコンの電源を切ってもカウントダウンは進んでいきます。
- ※4 解答の途中でも50分経過した場合、その途中までの解答が自動的に提出されます。
- ※5 ご自宅にインターネット環境が無い、パソコン操作が困難等の事情により**Web受験が困難な方は、学習センター受験を事前に申請することができます。(申請書は印刷教材等に同封されます。)**
- ※6 学習センター受験の場合、「[授業科目案内](#)」に記載の試験日・時限での受験となります。



## ～愛知学習センターにおけるWeb単位認定試験体験版の操作機会提供について～

ご自宅での操作体験が困難な方には、愛知学習センターで操作体験の機会を提供します。(予約制)

- ・実施日：4/ 19(火), 20(水), 26(火), 27(水), 5/10(火), 17(火), 22(日), 24(火),
- ・実施時間：①10:30-12:00 ②14:00-15:30 (いずれかの希望日、時間帯をご指定ください。)
- ・定員：各回12名

ご希望の方は、**参加希望日の前々日までに愛知学習センター窓口、もしくはお電話にてご予約ください。**上記日程はPC演習室使用状況により、変更となる場合がありますので、予めご了承ください。



## 客員教員によるゼミ(課外学習)及び学習相談のお知らせ

2022年度第1学期の客員教員によるゼミ、学習相談をオンライン(WEB)または対面にて開催します。

### ■ 対面について

対面については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、日程変更や中止の可能性があります。日程変更や中止となった場合は、申込を受け付けた学生個別に連絡いたします。必ず受付手続きを行った上で受講してください。



### ■ オンラインゼミで利用するWeb会議システム:Zoom

Zoomは同時双方向のWeb会議方式で、無料で利用できます。Zoom公式ホームページから、使用するメールアドレスの入力など簡単なサインアップ(利用登録)をすることで利用が可能になります。受講者は先生からメールで送られてくるURLをクリックすることでオンラインでのゼミに参加することができます。

メールの受理が出来ないなどの利用に不安がある方については、接続テストを行います。詳細は後日愛知学習センターの公式ホームページでご案内いたしますのでご確認ください。

### ■ 受講するには???

- ▶ Wi-Fiや4G等のモバイル回線(テザリングを含む)、有線LAN等のインターネット通信環境が必要となります。
- ▶ 確実に通信を維持できる環境が必要で、データ通信料に制限が無い定額のインターネット通信環境を推奨いたします。
- ▶ 通信環境のほか、パソコン(タブレット端末含む)、Webカメラ、マイク、イヤホンが必要となります。(Webカメラ、マイク、スピーカーがノートパソコンの端末に内蔵されていれば、別途購入する必要はありません。)
- ▶ 接続の際の通信費やプロバイダ料金、端末代などは各自のご負担となります。
- ▶ キャンパスメール(学生メール)でオンラインゼミのURLを受信できるように必ずメールの受信設定をご確認ください。
- ▶ ウィルス対策ソフトをインストールする等パソコンのセキュリティ対策は万全にしてください。

## ゼミ課外授業について

※詳しくは愛知学習センターのウェブサイトにてご確認ください。(3月下旬ごろに掲載予定)

### 申 込 方 法 等

- 対象者：放送大学愛知学習センター所属の在学生(学生の種類は問いません)
- 申込期間：4月1日(金)10:00～ ※先着順
- 申込方法：<対面ゼミ> 電話のみ  
<オンラインゼミ> 愛知学習センターのウェブサイト
- 受講料：無料(単位の修得はありません。)

### 【留意事項】

- ◆1人最多3つのゼミを受講できます。  
なお、担当教員の都合により日程変更等がある場合がありますので、ご了承ください。
- ◆代理登録はできません。
- ◆ゼミは単位認定が無いため、愛知学習センターでの出欠確認は行いません。  
全ての回を受講できることを条件としております。日程をご確認のうえお申込みください。  
なお、先生への個別の連絡(出欠の連絡や伝達事項など)のお取次ぎはいたしておりません。  
ご了承ください。

## 日 程

担当教員	受講方法	曜日	時間	日 程							定員
				5/10	5/17	5/24	5/31	6/7	6/14	6/21	
佐々木	web	火	13:30-15:00	5/10	5/17	5/24	5/31	6/7	6/14	6/21	10
松 島	対面	火	10:30-12:00	5/10	5/17	5/24	5/31	6/14	6/21	6/28	15
阿 部	対面	火	14:00-15:30	5/10	5/17	5/24	5/31	6/14	6/21	6/28	15
田 原	対面	金	14:00-15:30	5/20	5/27	6/3	6/10	6/17	6/24	7/1	10
横 越	web	金	10:00-15:30	5/6	5/13	5/20	6/3	6/10	7/1	7/8	20
伊 藤	web	金	13:30-15:00	5/6	5/13	5/20	6/3	6/17	6/24	7/8	20
金 子	対面	水	14:00-15:30	4/20	4/27	5/25	6/1	6/15	6/22	6/29	12
西 田	web	金	15:30-17:00	4/22	5/13	5/27	6/10	6/17	6/24	7/8	10
堀 場	対面	水	14:00-15:30	4/27	5/11	5/25	6/15	6/29	7/13	(※注)	10

最大15名

最大15名

最大15名

(※注)学外実習(1回分)は5月中旬以降に決定します。

## 学習相談(オンライン・対面)について

学習相談(オンライン・対面)について、学習の方法や進め方など、修学上の疑問や質問について、客員教員がオンラインもしくは対面で学習相談を実施します。各教員の専門分野については、『愛知学習センター利用の手引き』をご覧ください。なお、放送授業の内容に関する質問は、『学生生活の葉』の「質問について」をご参照ください。

## 申 込 方 法 等

●申込期間：希望する学習相談日の1週間前まで。(相談時間：原則として1人につき30分)

●申込方法：愛知学習センターのウェブサイトをご覧ください。(3月中旬～下旬ごろ掲載予定)

**相談方法がオンラインの場合**：愛知学習センターウェブサイト『学習相談一覧』をご確認ください。

**相談方法が対面の場合**：事務室窓口で「学習相談票」に相談内容を記入しお申し込みください。

## 日 程

担当教員	受講方法	曜日	時間	日 程		
				4/19(火)	4/22(金)	4/26(火)
佐々木	web	火/金	11:45-13:15	4/19(火)	4/22(金)	4/26(火)
松 島	対面	火	13:00-14:30	5/17	5/31	6/21
阿 部	対面	火	14:00-15:30	4/26	6/7	7/5
田 原	対面	火	14:00-15:30	5/24	6/7	6/21
横 越	web	金	10:00-11:30	4/22	5/27	6/17
伊 藤	web	金	11:30-13:30	5/6	5/20	6/17
金 子	対面	火	12:30-14:00	4/26	5/17	6/7
西 田	web	金	10:00-11:30	5/13	6/10	7/8
堀 場	対面	水	12:20-13:50	5/25	6/15	6/29

※担当教員の都合により日程変更等がある場合がありますので、ご了承ください。

## ゼミの内容

佐々木ゼミ

森林と都市の環境学

オンライン



気候変動によると考えられる災害等の多発により温暖化問題やエネルギー利用に関する意識が高まるなか、低炭素型社会を構築することで持続可能な国土・地域づくりを推進することが重要課題となっています。このようなことから、我が国は2050年に温暖化ガスの排出を実質ゼロにする目標を掲げています。また、建築物の低炭素化等の施策を講じることを目的とした「都市の低炭素化の促進に関する法律」が制定されています。こうした中、脱炭素・温暖化抑制のためには、材料の製造加工時の二酸化炭素排出が少なく、炭素貯蔵機能を持つ木材の建築利用が好ましいと考えられています。我が国の豊富な森林資源を活かすことで脱炭素化を図ろうとするなら、木造の環境優位性の定量化と評価の共有が大切です。

このゼミでは、木造木質化が脱炭素の実現に貢献することを示すとともに、資源・サプライチェーン・情報の共有・人材育成の重要性についても論じる予定です。

※参考資料として「令和2年度森林林業白書」をご紹介します。

下記のサイトからダウンロードできます。

(<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/hakusyo/R2hakusyo/attach/pdf/zenbun-64.pdf>)

松島ゼミ

長篠への道

対面



天正3年(1575)5月の長篠の戦いは、よく知られているように、織田信長・徳川家康の連合軍が武田勝頼の軍勢を打ち破ったものです。長篠は三河の東部に位置していますから、家康(と同盟者の信長)が関わっているのは自然な話といえるでしょうが、では甲斐(現在の山梨県)の戦国大名であった武田勝頼は、なぜこんな遠いところまで、わざわざ大軍を率いてやって来たのでしょうか。戦国大名同士の戦いはもちろん歴史に大きく刻まれる出来事ですが、少し視点を変えて、なぜそうした戦いが起こっていたのか、という角度から考えてみると、われわれの前に広がっている歴史の世界が、これまでよりもさらに多彩で興味深いものに見えてくることもあるはずです。

このゼミでは、戦国大名の動きとともに、彼らの動向を時には左右していた三河の地域勢力の動向に視点を据えて、長篠の戦いに至る流れを考えていきたいと思えます。史料は、毎回プリントで配布します。

## 阿部ゼミ

## 歴史資料で読み解く経済の歩みと地域社会

対面



経済史とは経済現象の長期的分析を進める学問です。長期的分析を歴史的な分析といいかえることもできます。日本経済史は、経済面から日本社会の歴史を明らかにしようとする学問なのです。

このゼミでは、身近な地域の歴史資料に注目して、経済学の1分野としての経済史の方法について学びます。経済史の方法というとなんとなく難しく聞こえるかもしれませんが、経済学を前提とした歴史的な考え方、歴史資料の読み方にふれてもらいたいと考えています。

歴史資料のなかでも、江戸時代から現代までの地域社会の変貌を物語る資料を中心にとりあげます。20世紀末からすでに言われていたように、21世紀には、グローバル化と情報化の急激な進展によって、江戸時代以来の歴史的な特質や伝統は、消滅の最終局面を向かえつつあるようです。

文書や碑文、絵図や写真等、様々な歴史資料を読み解き、地域社会の変貌過程をたどりながら、歴史的な特質や伝統の行方について、みなさんと語り合うことができたらと思っています。

今学期は、名古屋市とその周辺を対象に、幕末期から昭和戦前期の歴史資料を取りあげて、戦後名古屋の出発点となった原風景を読み解いて行きます。テキストは、ゼミの時間中に紹介します。

## 田原ゼミ

## 現代の宇宙観～最新の宇宙観測の成果を深掘りする～

対面



近年、ブラックホール、ダークマター、系外惑星、などに関する画期的な観測が相次ぎ、現代の宇宙観は非常に豊かで確かなものになってきました。インターネットのウェブ上には観測成果を解説する文や図、美しい天体画像などが溢れています。しかしこれらの説明は必ずしもわかりやすいものではありません。

このゼミでは、宇宙に関する最新観測結果を取り上げ、その成果を少し掘り下げて理解し、現代の宇宙観に迫ることを目標とします。そのため、理解に必要な物理学の基本法則を、日常生活で体験する現象を素材に、簡単な実験や観測を通して学んだり、物理学の特徴である「現象の本質を問う問題設定」の仕方を学びます。そして美しい天体画像を見たとき、画像の持つ意味が理解でき、宇宙を実感できるようになっていただけたら、と考えています。

ゼミでは、宇宙に関する最新のテーマの一つを取り上げ、内容の解説と質疑応答を行います。関連する課題を幅広く提示しますので、受講生の皆さんの内希望される方には、各自興味を持たれた課題について、ゼミの進行に並行して調査し、報告していただく機会も設けたいと考えています。

## 横越ゼミ

## 英語学ゼミ英語のしくみ、ことばのしくみ(4)

オンライン



昨年度に引き続き、人間の「ことば」に様々な分野からアプローチし考察するゼミにしようと考えています。ことばをよく観察し分析してみると、母語の獲得、発声の方法、語や文の形成、文章の解釈などの様々な側面で、どんな言語にも適用される普遍的な規則がみられます。このゼミでは、英語で書かれた教科書を読みながら、ことばの面白さや奥深さについて皆さんと考えてみたいと思います。

今学期は、文全体の意味がどのようにして解釈されるのか、また人と人との会話がどのように成り立つのかなどについて、主に英語と日本語の例を観察しながら議論していきます。母語に関する皆さんの言語直感を働かせながらことばについての身近な現象について考察し議論を進めていくことで、ことばの研究の楽しさも伝えられるゼミにできればと考えています。教科書は章ごとにトピックが分かれていますので、今学期からでも安心して参加していただければと思います。ことばに興味がある方、また英語の読解力を高めたいという方も、受講を歓迎します。

このゼミでは昨年度に引き続き以下の教科書を使用しますので、受講する方は購入してください。

※First Steps in English linguistics -英語言語学の第一歩  
著者:影山太郎/フレント・デ・シェン/日比谷潤子/ドナ・タツキ 出版元:くろしお出版

## 伊藤ゼミ

## 定家卿百番自歌合を学ぶ

オンライン



定家卿百番自歌合(ていかきょうひゃくばんじかあわせ)』は、古典和歌を代表する大歌人、藤原定家(1162~1241)が、自らの歌の中から二百首を選び、それを百(ひゃく)番(ばん)の歌合(うたあわせ)という形式に仕立てたものです。二十歳の時の「初学百首(しょがくひゃくしゅ)」から、七十一歳の時の「関白左大臣家百首(かんぱくさだいじんけひゃくしゅ)」に至る詠歌から、えりすぐりの歌が集められています。百人一首同様、恋歌が多く、定家の嗜好や詠みぶりが非常によく現れており、定家の詠歌の様子が詳しく分かる和歌資料と言えるでしょう。

本年度は、『定家卿百番自歌合』の歌を通して、こうした定家の和歌の変化の様相を見、和歌の基本知識を学ぶことを主眼とします。定家の歌は、実に優れた歌ですので、楽しみつつ学ぶことができようかと思えます。

毎回プリントを使用し講義をしますので、テキストは必要ありません。テキストは、zoomの招待メールに添付、もしくは、ゼミ開講中にチャットで送信する予定です。

## 金子ゼミ

## 逆境が人間の成長発達にもたらす意味

対面



これまで人類は、様々な生存上の危機や逆境に曝され続けてきました。疫病による死、否応なしに巻き込まれる戦争や紛争、大規模な自然災害による災厄など、生命や財産を奪われる機会に繰り返し巻き込まれてきました。発展を遂げて豊かな生活をおくる先進国の中にあっても、養育者から適切な養育を受けることが出来ないまま子ども時代を過ごすことを余儀なくされたり、貧困のために苦しい生活を続けざるを得なかったりする人も存在します。受験の失敗や失恋を体験したり、失業や心身の健康を損なったり、親しい家族との離別や死別を経るなど、人生には様々な逆境が待ち受けているとも言えます。

あまりに深刻な逆境が重なる場合は、人々のこころの健康や健やかな成長発達に阻害されることが知られています。その一方、これらの危機や逆境を人生の糧として乗り越え、自らの進む道を力強く歩んでいく人もいます。

ゼミでは、危機や逆境が人間の成長発達に及ぼす多様な側面について、皆さんと議論を深めたいと思います。初回に、検討したいテーマを参加者の皆さんから出し合ってもらい、発表担当者を決めます。その後は、各自のテーマについて発表資料を作り、ゼミ当日に発表してください。発表内容を元に、全員で意見交換を行います。

## 西田ゼミ

## 幸せな老いを考える

オンライン



歳を重ねると誰しも、視聴覚や運動の機能などのさまざまな身体的老化を経験します。記憶力やすばやく処理する能力などの認知機能の低下を実感します。また、仕事からの引退や身近な人との死別により、社会的な関係が少なくなることもあります。この数十年間で日本人の平均寿命は大きく伸びました。人生が長くなったことはもちろん喜ばしいことですが、一方で、シビアともいえる老いとともにありながら、どのように高齢期を過ごすかは、私たちが生涯を通じて考えるべき重要な課題となっています。

本ゼミでは、生涯発達心理学や高齢者心理学の理論や研究を参照しながら、幸せに老いる、ということについて考えたいと思います。初回にいくつか心理学からのトピックを提示し、関心のある事柄について発表の担当を決めます。参考テキストについてもその際にご紹介します。二回目以降は、各々の発表の内容をもとに、全体で討論を行っていきます。

堀場ゼミ

子どもの貧困・虐待の背景と支援

対面



近年、日本では厳しい社会状況を反映して、子どもの貧困・虐待が深刻化しており、コロナ禍がそれに拍車をかけています。また、児童養護施設(以下、施設)においても、感染症対策や小規模化・地域分散化などの制度改革が同時に進んでおり、職員の過重労働が深刻化しています。このような状況をふまえて、ゼミでは子どもの貧困・虐待の背景と支援、職員の働き方などについて学んでいきます。

まず、第1学期は、文献・記事・映像をとおしてゼミのテーマに関する学びを深めながら、受講生の報告を踏まえて議論していきます。第2学期は、文献をもとにした受講生の報告と議論を軸に、学びを深めていきたいと考えています。その他、学期ごとに1回ずつ、愛知県内の児童養護施設・乳児院の見学を行います。

(※現地までの交通費は自己負担で、学生教育研究災害傷害保険(数百円)に加入していただきます。)

初回ゼミでは、受講生の自己紹介や問題意識を報告していただいたうえで、交流をします。その後、テキストを用いるかどうかを検討し、報告者・報告順などを決める予定です。

■ ゼミの開催等について連絡事項

ゼミの開催等について連絡事項がある時はシステムWAKABAに登録されている電話番号またはキャンパスメールへ連絡いたします。システムWAKABAに登録している連絡先が現在もご利用いただけるか確認してください。

(メールの受信設定によりメールが受信できていないなどの問い合わせには対応できかねます。あわせて受信設定もご確認ください。)

連絡先の変更がある場合『住所変更届』をシステムWAKABAよりWEB申請するか、愛知学習センターへ提出してください。

■ 来所の際は検温をお願いします

学習センターへ来所の際にはご自宅で検温をしてきていただき、少しでも体調に不安がある場合は来所を控えてくださいますようお願いいたします。

愛知学習センターでは、引き続き新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでまいります。教室は窓を開けての換気を行っておりますので、体温調節のしやすい服装でご来所ください。

新型コロナウイルス感染症対策による授業・行事の中止や延期の詳細、および愛知学習センターの臨時閉所、その他の重要なお知らせは以下により随時情報を発信しています。

- 放送大学ウェブサイト
- 愛知学習センターウェブサイト
- システムWAKABA「学内連絡」
- キャンパスメール



最新情報を  
ご確認ください